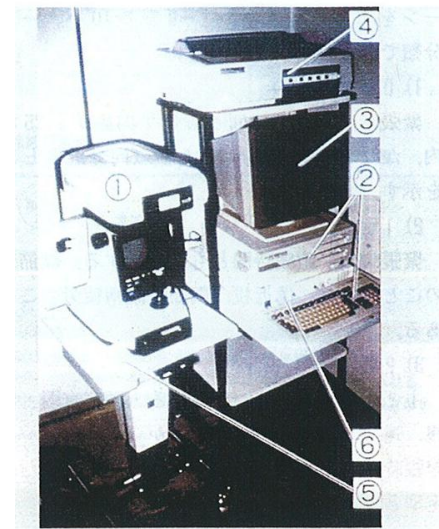




アコモドメーター (AA-2000) システム概略
① 赤外線オプトメーター, ② パーソナルコンピュータ,
③ モニターブラウン管, ④ プリンター, ⑤ 光学台, ⑥ 筒

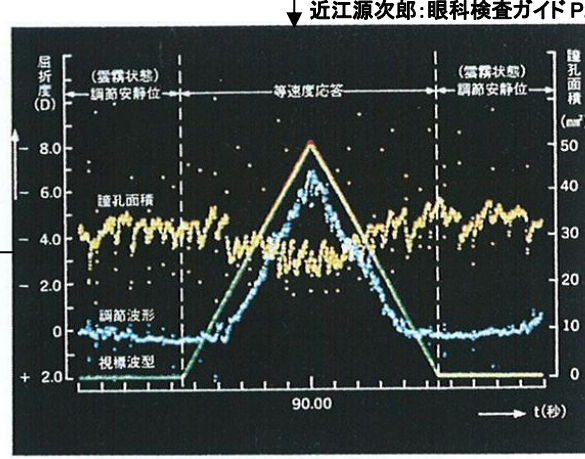
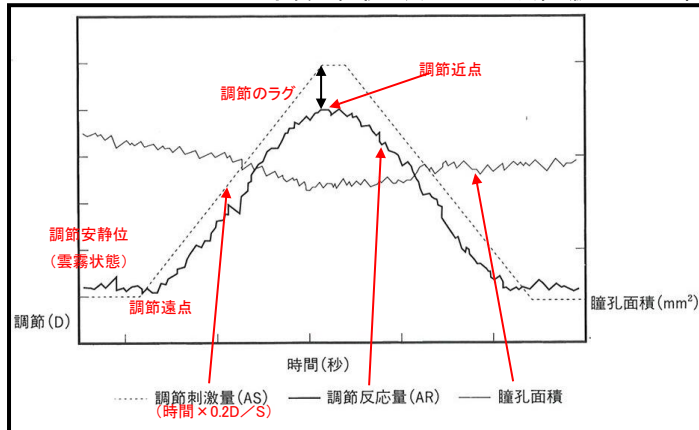
近江源次郎: 眼科検査ガイド P216



検査の実際

近江源次郎: 眼科検査ガイド P216 一部改変

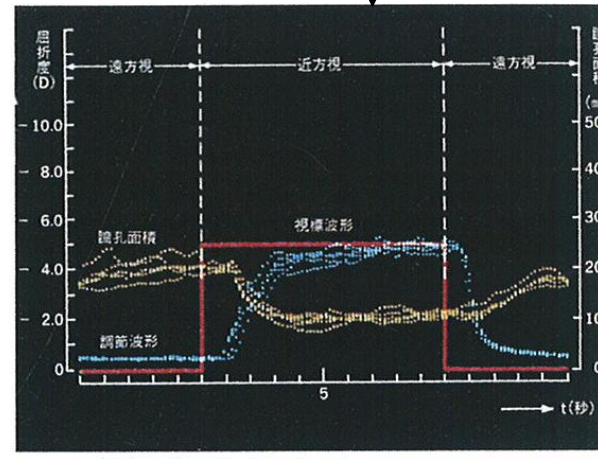
塚本光雄: 検査法ハンドブック第3版 P63 に加筆



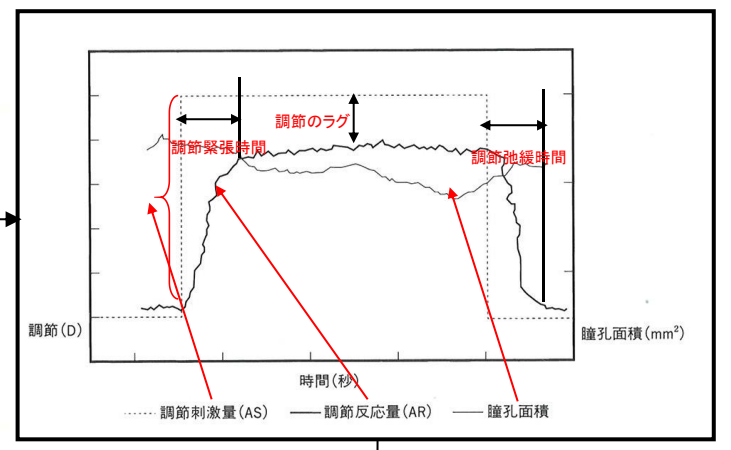
ぼけた像が視標が前方に移動することにより、遠点に近づき次第に輪郭が認識され、さらに近点位置を通りすぎて再びぼけた像にかわるとのこと。このときしっかり見ないと調節麻痺型となるので注意!

近江源次郎: 眼科検査ガイド P217

近江源次郎: 眼科検査ガイド P217



塚本光雄: 検査法ハンドブック第3版 P63 に加筆



調節刺激量に応じた調節反応・調節の微動などを求め、ステップ波形と瞳孔変化が正常範囲内で判定する

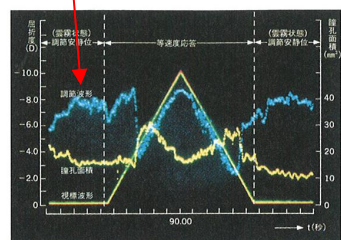
中村芳子: 眼科診療プラクティス 18 P110

YES 遠点・近点・調節反応・調節の微動を求め、調節波形と瞳孔変化が正常範囲内か?

NO 異常

結果例)

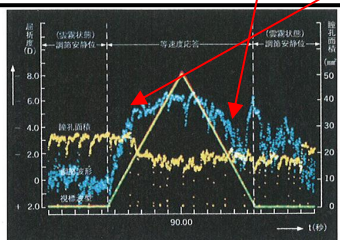
雲霧状態での調節安静位において著明な屈折度の近方偏位がみられた



正常パターン

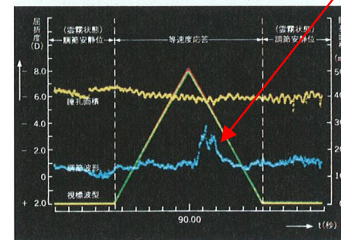
調節痙攣(VDT 作業)

雲霧状態での調節安静位において調節微動の著明な増大がみられ、近方調節時の過剰調節と、遠方調節時の調節弛緩の遅れがみられた



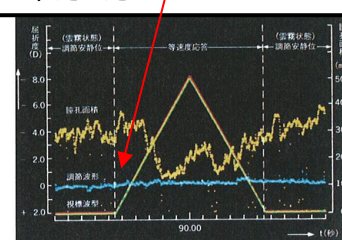
調節痙攣(頭部外傷後)

視標の変化に追従する調節反応量が低下し、近見時の縮瞳反応もみられなかった



調節不全麻痺(Basedow 病)

調節微動が減少し、視標の変化に追従する調節反応が見られなかったが、瞳孔反応は正常だった



調節麻痺(前囊下白内障)

参考

自然視(両眼開放状態)とはかなり違う状態での測定である。眼鏡処方考慮する場合、自覚的に明視できるか否かという感覚系の問題もある。また自覚的に測定された調節力に比べ約2D低値となる。これは、瞳孔のピンホール効果や角膜の球面収差、網膜の情報処理能などによる偽調節が他覚的方法では混入しないためと考えられるとのこと。